

使用済み切手を集めています。

あなたの不安を
安心に!!

令和2年度 成年後見制度専門相談開催

成年後見制度利用についての専門相談を弁護士が行います。既に、親族の後見人等を受任している方のご相談もお受けします。

1.開設日 市原市社会福祉協議会
(いちはら後見支援センター準備室)
(住所:市原市南国分寺台4-1-4)

2.時間 午後1時30分から午後4時30分

3.利用料 無料

4.対象者 市内在住の方。市内関係機関の方。

5.予約先 ☎0436-26-6200【いちはら後見支援センター準備室】
※予約の方が優先になりますので、事前にご予約下さい。

1月21日(木) 2月25日(木) 3月25日(木)

The image shows the January issue of the Ichihara-shakyo magazine. The cover features large yellow and green text for the title and number. A cartoon character wearing a four-leaf clover hat is on the right. A small box on the left contains a logo and the text 'あつたか ハートで まちづくり'. The background has a yellow and white checkered pattern with decorative flowers.

災害ボランティア養成講座 / もしもの時の“力”に!

安心して暮らせる地域づくりのために

安心生活見守り支援事業

安心生活見守り支援事業は、安心訪問員が、月に1~2回一人暮らしの高齢者や障がい者などに見守り・声かけを行います。異変に気付いた時は、地域包括支援センターなどの関係機関に繋ぎ、適切な支援や素早い対応が受けられるようにしています。

この事業は、市内の小学校区ごとに設置されている小域福祉ネットワークが主体となって活動しており、現在42の小域福祉ネットワークで実施しています。

高齢者世帯を対象に

主に一人暮らしの高齢者・高齢者世帯等が対象となります。

現在、1,193名が見守り訪問を希望されています。(令和2年10月1日現在)



対象者

※見守りを希望され、個人情報の提供に同意された方のみが対象となります。

※実施団体により対象年齢等が異なる場合があります。

月に1~2回の安否確認

小域福祉ネットワークより選出されたボランティアであり、事業の概要や心構え等について学ぶ「安心訪問員基礎研修」を受講した後、対象者宅へ月に1~2回程度の見守り訪問を実施しています。

現在、1,328名が安心訪問員として活動しています。(令和2年10月1日現在)

千種小学校区小域福祉ネットワークによる見守り活動



安心訪問員とは…

いざという時に安心

見守り対象者の方に配布している救急時に自分の持病や病歴、服用中の薬や緊急連絡先などを救急隊員に確実に伝えるためのキットです。

筒型の容器に、医療情報を記入した用紙と保険証のコピー等を入れ、自宅の冷蔵庫に保管します。万一の場合は、救急隊が冷蔵庫を開けて「みまもりくん」を確認し搬送することになっています。

福祉医療情報キット
(みまもりくん)



実施団体へのインタビュー

国分寺台西小学校区ふれあいネットワーク

ふれあいネットワークでは、平成30年の12月より見守り活動を開始しました。現在、対象者が25名おり、16人の訪問員が活動を行っています。

事業を始めるきっかけは、毎年開催されていた「敬老会」が終了することになり、地域との繋がりがより一層薄れてしまうことに危機感を持ったため、ネットワークとして何か出来ることはないかと考えた結果、事業を開始することとなりました。

国分寺台地区は町会に加入されていない方が多いため、ネットワークとしては町会未加入の75歳以上の高齢者世帯や、障がい者世帯の方を主な対象として、月に1~2回の見守り活動を行っています。

活動を始めた最初はぎこちない部分もありましたが、会えることを楽しみにしているとのお声をいただき、訪問員としても活動の中で感謝されること多く、とてもやりがいを感じています。

今年はコロナウイルスの影響で、いつも通りの活動が難しい状況ですが、こういった時だからこそ対象者の方が塞ぎがちにならないように、直接会う形でなくても声かけしてあげることが、見守り活動を行う上で必要であると思います。

問合せ先

見守り支援をご希望される方、見守り訪問員としての活動を希望される方、その他、安心生活見守り支援事業についてのお問合せは、市原市社会福祉協議会までご連絡ください。

社会福祉法人 市原市社会福祉協議会
TEL:0436-24-0011

新たな年を明るく過ごしてもらうために!!

地域福祉支援事業

地域福祉支援事業は、新たな年を迎える時期に、安心して暮らすことの出来る地域づくりを目指して、地区社会福祉協議会や小域福祉ネットワークが主体となって実施しています。

イベントを通じて世代間の交流を図る「交流型」や、ゴミ出し支援や個別訪問を通じた見守りなどを行う「個別支援型」の事業を実施しており、歳末の時期に限らない日常的な支援に繋げるためのきっかけづくりを行っています。

令和2年度の活動紹介

【交流型事業】

市原小学校区小域ネットワーク

地域交流型事業～避難訓練・炊出し訓練～

昨年度に引き続き、地域に住む方々や町会等の団体にご協力いただいて、12月13日(日)に市原小学校にて「防災訓練&福祉フェア」を実施しました。台風被害により災害に対する意識が高まっている中で、事業を通じて地域の方々や団体と連携して防災活動に取り組めたことは、災害にも強い地域を作っていく上で、とても重要な活動となったと思います。



残念ながら、毎年実施している餅つきは、新型コロナウイルスの影響で中止となりましたが、防災や地域福祉に興味を持つもらえるような良いきっかけとなりました。

ちはら台桜小学校区小域福祉ネットワーク

虹の会～DUOコンサート

新型コロナウイルスの影響で、様々なイベントが中止となり外出する機会が減ってしまったことで、閉じこもり気味になってしまった方たちに、音楽を通して少しでも心温まる時間を過ごしてもらおうと、11月29日(日)にちはら台コミュニティセンターにて開催しました。感染防止に配慮した中での開催となりましたが、当日は楽しい時間を過ごすことが出来ました。



【個別支援型事業】

市東第一小学校区小域福祉ネットワーク

～見守り対象者への日常生活支援～

今年度は、ネットワークとして初めての試みである日常生活支援を実施しました。試行的な活動であったことから対象者を絞っての活動となりましたが、室内の清掃や庭の草刈りなど、お申込をいただき、満足していただける活動を行うことが出来ました。活動を行った際に、継続的な支援を希望する方に対しては、市津地区社会福祉協議会

で実施している「市津まごの手」事業の紹介をするなど、日常生活上の課題の把握や、歳末時期だけではない継続的な支援に繋がる良いきっかけとなりました。

有秋南小学校区安心安全ネットワーク

～ふる里有秋南「ふれあいの輪」～

毎年実施している「お楽しみコンサート」に代わり、今年度は、有秋南小学校の子どもたちと一緒に、日ごろの感謝の気持ちを込めた「ふれあいレター(お手紙)」と、「簡易防災グッズ」を、地域に住む安心生活見守り支援事業の対象者などへプレゼントしました。児童からのお手紙を渡した際は非常に喜んでいただき、新型コロナウイルスの影響で塞ぎがちであった1年ですが、新たな年を明るく過ごしてもらうための良いきっかけとなりました。

